



「牛のおっぱいミルク」を持つ渡辺さんと乳しぼり体験に登場した「いよちゃん」(2018年6月21日生まれ)

## 食や命の大切さを伝え、酪農の可能性を引き上げる

渡辺 隆幸 (わたなべ たかゆき)  
有限会社 渡辺体験牧場 代表取締役

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクールで優秀賞を受賞した「有限会社 渡辺体験牧場」の渡辺隆幸さんにお話を伺いました。

### 《繁忙期の労働力不足から人気の体験牧場に!》

弟子屈町は、北海道の東部にあって釧路川の最上流部に位置し、阿寒摩周国立公園の56%を占め、世界有数の透明度を誇る「摩周湖」、周囲の峠などから一望できる「屈斜路湖」などを有する自然豊かな農業・酪農と観光の町です。

その弟子屈町にある渡辺体験牧場は、放牧しながら乳牛を飼育し生乳を出荷する傍ら体験牧場を<sup>かたわ</sup>経営し年間3万人もの来場者が訪れる人気のスポットです。

渡辺さんは、1985年にお父さんから牧場経営を引き継ぎ、夏場の繁忙期にはユースホステルの宿泊者をアルバイトとして受け入れていました。その経験がきっかけとなり牧場体験をしたいという人が増え、1989年「摩周酪農体験ゼミナール」を開催。新聞やメディア、大手旅行会社内でも評判が広がり、観光バスの団体客や一般客を受け入れることとなり、1997年会社を設立し本格的に体験牧場をスタートしました。



体験メニューの「トラクターでの大草原周遊」

### 《体験メニューの変更や新商品の開発》

渡辺体験牧場のモットーは、「牛さんも健康・家族も元気・お客さんも笑顔・そして、地域も生き生き」です。体験メニューの内容は、乳しぼり体験、乳製品作り体験、牧草地の散策、芝刈り機体験などと多岐にわたり、渡辺さんやスタッフが親切にガイドします。現在、11の単品の体験メニューの他に4つのコースがあります。中にはお客さんとのコミュニケーションの中からヒントを得てできたものもあります。

当初は道内外からだった来場者も、今では海外からも訪れるようになり、個人や団体ツアー、修学旅行など年間約3万人の利用があり延べ70万人に及びます。牧場施設も大型バス駐車場の整備、ゲストハウス増築、ミルク工房、ヨーグルト工場、EV自動車充電器設置など設備も充実しています。来場者の中には、修学旅行で体験して大人になってから、家族や友人たちと何度も訪れる人もいます。

また、体験牧場の他に自家生産牛乳を使った加工販売や大手企業とコラボした商品開発・製造も行っています。渡辺体験牧場では、毎年、体験メニューの変更や新商品の開発にも余念がありません。

最後に渡辺さんは「歩みを止めると、そこで止まってしまう。一步一步、前進することが大切です。乳牛を通じ生きものと触れ合うことで『食や命の大切さ』を利用者に伝えていきたいです」と語りました。

わたぼくちゃんねる  
YouTube



渡辺体験牧場  
ホームページ



※当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しくー北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。